

## 第38回 東名高速道路におけるタイヤ点検アンケート調査の結果報告

社団法人日本自動車タイヤ協会（会長 南雲忠信）では、関係各位のご協力を得て、去る7月21日、東名高速道路・浜名湖サービスエリアに駐車中の自動車タイヤの点検並びにそのドライバーを対象としたアンケート調査を行ないましたので、その結果をここに発表致します。

当会のこのタイヤ点検は、タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図ることを目的に、東名高速道路が全線開通した年から毎年実施しているものです。38回目となる今年の点検は、降雨による点検時間短縮の影響を受け点検台数は例年に比べ約半分程度となりました。その概要は以下の通りです。

当会が実施しているこの他のタイヤ点検の結果から、タイヤの日常点検・整備等が適正に行なわれていないことがうかがえるため、本タイヤ点検を始めとする様々な啓発活動の中で、タイヤ適正使用・管理の重要性を訴求して参ります。



### ● タイヤ点検・アンケート調査の対象車種及び目的

項目	対象車種	目的
タイヤ点検	乗用車 大型バス トラック	タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図る。
アンケート調査	乗用車 大型バス	タイヤ使用に関するドライバーの意識を調査し、正しい使用・管理方法をPRする。

### ● 後 援

経済産業省  
国土交通省  
社団法人 日本自動車工業会

### ● 協 力

中部運輸局  
関東管区警察局 川崎高速道路管理室  
静岡県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊  
中日本高速道路株式会社 横浜支社  
社団法人 日本自動車連盟 中部本部

## 1. タイヤ点検結果の概要

今回、タイヤ点検を行った車両は乗用車65台、大型バス11台及びトラック30台の合計106台ですが、これら車両のタイヤ整備の概要は次の通りです。

表-1 タイヤ整備の「車種別」状況

車種	点検車両	タイヤ整備不良車両	不良率	増減	前回不良率
乗用車	65台	27台	41.5%	+22.2	19.3%
大型バス	11	0	0.0	-8.3	8.3
トラック	30	4	13.3	-15.8	29.1
計	106	31	29.2	+9.8	19.4

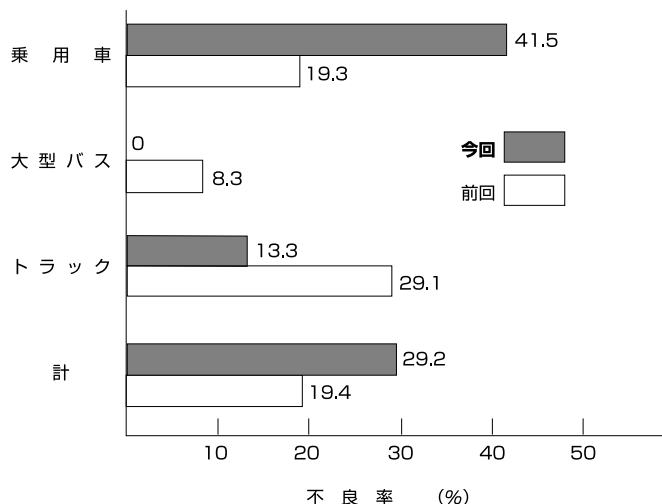
### 1-1 タイヤ整備の「車種別」状況について

タイヤ点検を行った車両106台のタイヤ整備状況は表-1の通りです。

- 1) タイヤの整備不良車両は106台のうち31台であり、不良率は29.2%になっています。
- 2) タイヤの整備状況を車種別にみると、不良率が一番高かったのは乗用車で41.5%、次いでトラック13.3%の順となっており、大型バスは0%でした。
- 3) タイヤの整備状況について今回と前回は比べると、全体の不良率は9.8ポイント増加しています。

(図—1参照)

図—1 車種別・タイヤ整備不良率の比較



## 1-2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

タイヤの整備不良車両31台の「車種別・項目別 (35件)」内訳は表—2の通りです。

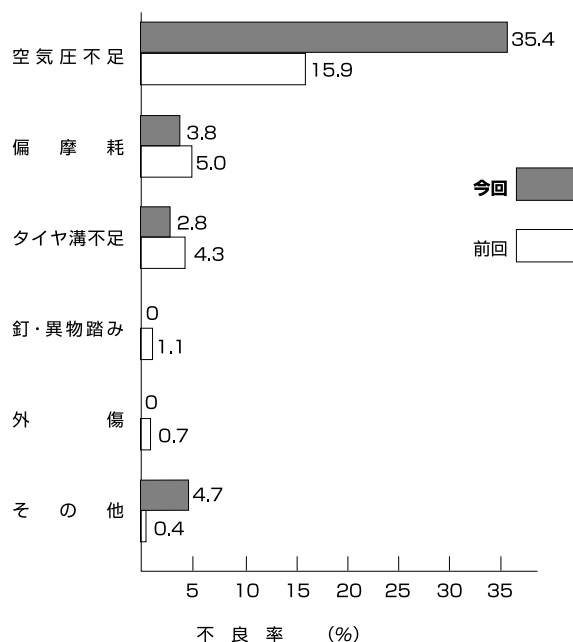
表—2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

不良項目	乗用車		大型バス		トラック		計			前回不良率
	件数	不良率 (%)	件数	不良率 (%)	件数	不良率 (%)	件数	不良率 (%)	増減	
タイヤ溝不足	0	0.0%	0	0.0%	3	10.0%	3	2.8%	-1.5	4.3%
偏摩耗	3	4.6	0	0.0	1	3.3	4	3.8	-1.2	5.0
外傷	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-0.7	0.7
釘・異物踏み	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-1.1	1.1
空気圧不足	23	35.4	—	—	—	—	23	35.4	+19.5	15.9
その他	4	6.2	0	0.0	1	3.3	5	4.7	+4.3	0.4
計	30	—	0	—	5	—	35	—	—	—

注)①乗用車の空気圧点検は実測。

- 1) タイヤ整備の不良項目 (計) を見ると、不良率1位は空気圧不足で35.4%、次いで偏摩耗が3.8%、タイヤ溝不足が2.8%の順となっています。(除く、大型バス)
- 2) タイヤ整備不良率を項目別に前回結果と比べると、図—2の通り空気圧不足は19.5ポイントと大巾に増加しているものの、タイヤ溝不足は1.5ポイントの減少、偏摩耗も1.2ポイントの減少となっており、「その他」を除く全ての項目で減少しております。

図—2 項目別・タイヤ整備不良率の比較



表—3 第38回 東名高速道路におけるタイヤ点検結果

	前回(参考) 第37回(2005.7.22)				今 回 第38回(2006.7.21)				増 減	
	乗用車	大型バス	トラック	計	乗用車	大型バス	トラック	計		
A. 点検車両 (台)	176	48	55	279	65	11	30	106	—	
B. タイヤ整備 不良車両 (台)	34	4	16	54	27	0	4	31	—	
B/A. 不良率 (%)	19.3	8.3	29.1	19.4	41.5	0.0	13.3	29.2	+9.8	
タイヤ整備不良の内訳 (件数)	タイヤ溝不足	1 (0.6)	0	11 (20.0)	12 (4.3)	0	0	3 (10.0)	3 (2.8)	-1.5
	偏摩耗	4 (2.3)	4 (8.3)	6 (10.9)	14 (5.0)	3 (4.6)	0	1 (3.3)	4 (3.8)	-1.2
	外傷 (コブ・ヒビ)	1 (0.6)	0	1 (1.8)	2 (0.7)	0	0	0	0	-0.7
	釘・異物踏み	1 (0.6)	0	2 (3.6)	3 (1.1)	0	0	0	0	-1.1
	空気圧不足	28 (15.9)	—	—	28 (15.9)	23 (35.4)	—	—	23 (35.4)	+19.5
	その他	0	0	1 (1.8)	1 (0.4)	4 (6.2)	0	1 (3.3)	5 (4.7)	+4.3
	計	35	4	21	60	30	0	5	35	—

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。  
 2. 不良率：「タイヤ整備不良車両数又は不良項目件数」/「点検車両数」×100  
 なお、「タイヤ整備不良の内訳(件数)」の( )は不良率を示す。

### 1-3 トラック(積載4t以上)の空気圧実測結果について

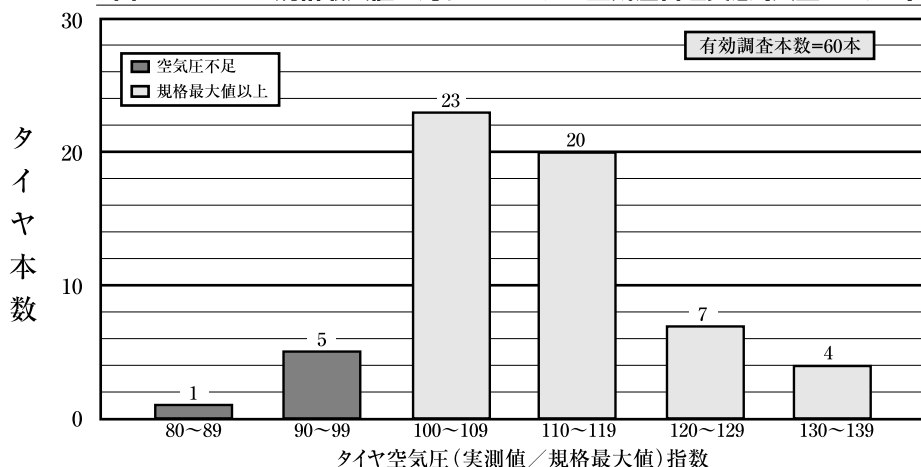
空気圧管理の啓発をより一層推進することを目的に、トラック(積載4t以上)の車両についても空気圧実測を行いました。

空気圧点検専門チームを設けて実施した本点検結果は後述の通りです。

- 1) トラック(積載4t以上)の空気圧点検を実施したところ、30台中3台に装着されたタイヤで空気圧不足の状態がありました。
- 2) 空気圧実測での不良率は10.0%と前回(点検台数67台、空気圧不足車両3台、不良率4.5%)に比べ5.5ポイント増えています。空気圧実測以外でのトラック点検結果ではタイヤ溝不足や偏摩耗といった整備不良の結果がでていることから、引続き適正使用のPRが必要と考えられます。



図—3 タイヤ規格最大値に対するユーザー空気圧管理実態(大型トラック)



## 2. アンケート調査結果の概要

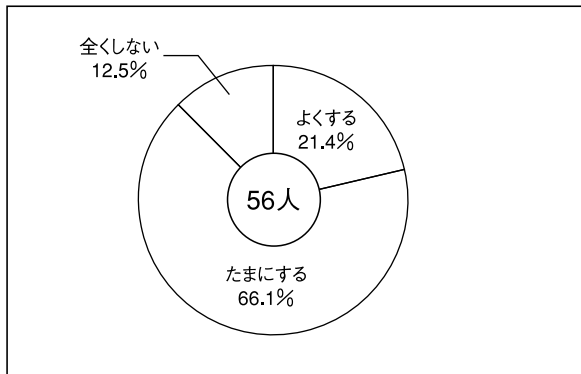
今回のアンケート調査では、乗用車のドライバー56人、大型バスのドライバー7人に回答を戴きました。それぞれの質問に対する回答は次の通りです。

(グラフの中心に表示している数字は当該質問の有効回答者数です)



### 《乗用車》

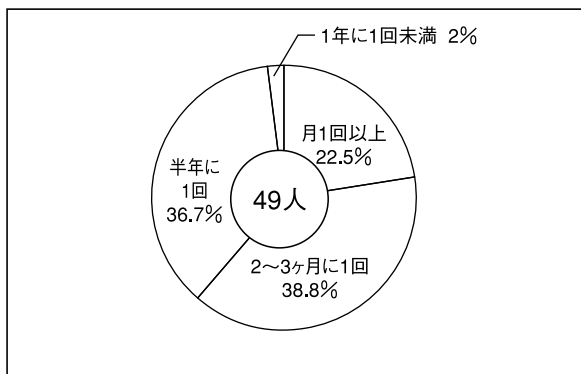
#### Q1 日頃タイヤ点検をすることがどの程度ありますか？



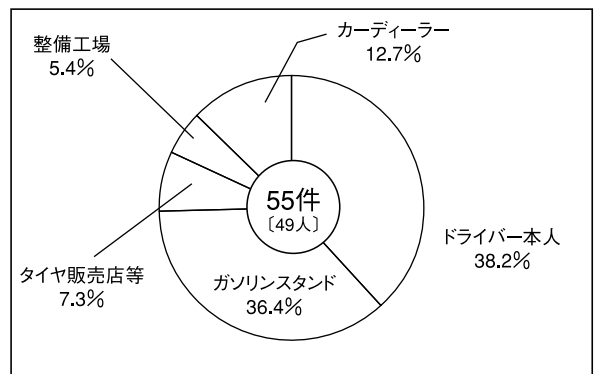
点検する	49人 (87.5%)	よくする	12人 (21.4%)
全くしない	7人 (12.5%)	たまにする	37人 (66.1%)

タイヤの日常点検実施については、12人が「よくする」(21.4%) 37人が「たまにする」(66.1%) とかなり多くのドライバーが行っているものの、「全くしない」というドライバーが7人(12.5%) いることから、その必要性に対する意識が充分だとはいえません。

#### Q1-2 それほどの位の頻度で行いますか？



#### Q1-3 誰が(又はどこで)点検を行いますか？(複数回答)



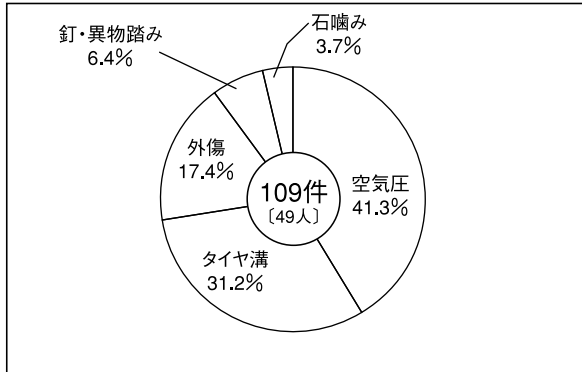
### タイヤの日常点検頻度について

前質問(Q1)で日常点検を実施すると回答したドライバーは全体の約9割を占めたものの、月1回以上の点検実施者は3割にも満たないことがわかりました。

### タイヤ点検の実施場所について

ドライバー本人が点検するが21件(38.2%)でもっとも多く、次いでガソリンスタンドで点検する20件(36.4%)の順となっています。

#### Q1-4 何を点検しましたか？（複数回答）



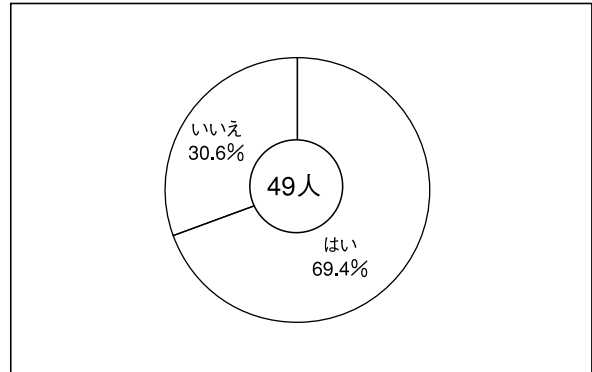
#### タイヤの点検項目について

実際にタイヤを点検する際の実施項目については、「空気圧」を点検するとの回答が45件（回答総数の41.3%）で最も多く、次いで「タイヤ溝」の点検が34件（31.2%）となっています。

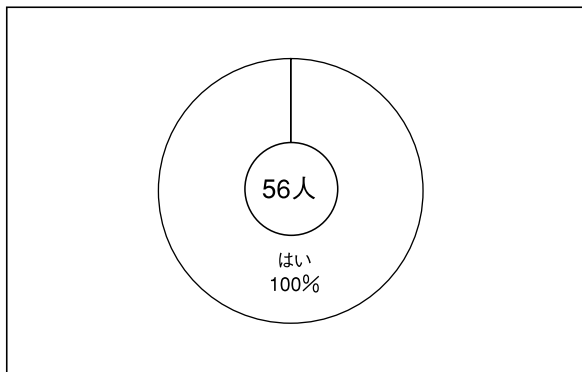
#### エアゲージの使用について

エアゲージを使用して空気圧を点検していると回答されたドライバーは49人中34人（69.4%）でした。

#### Q1-5 空気圧はエアゲージで点検していますか？

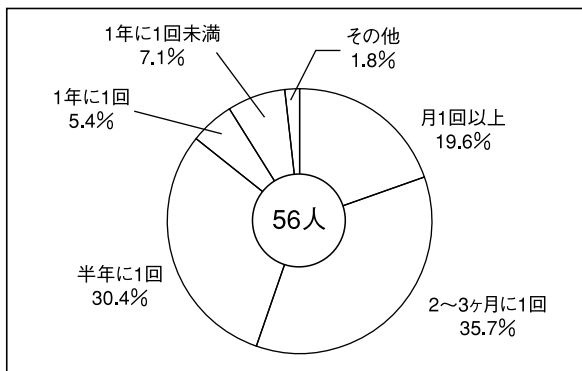


#### Q2 タイヤの空気は自然に漏れると思いますか？



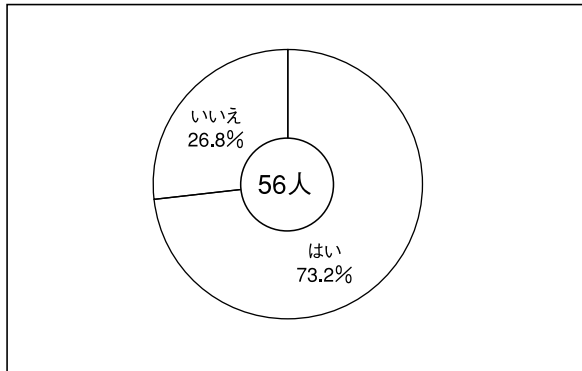
56人、全てのドライバーがタイヤ内の空気は自然に漏れることを知っているとは回答しています。

#### Q3 タイヤの空気圧はどの位の頻度で点検していますか？



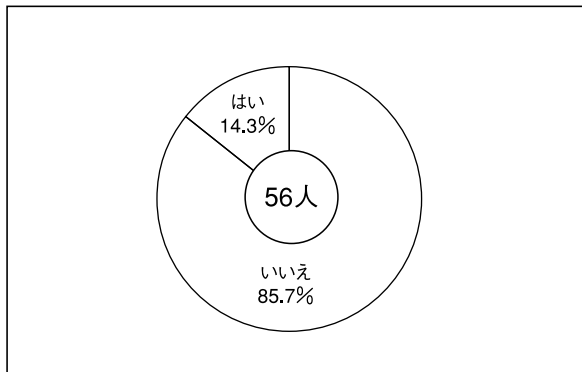
タイヤの空気圧は自然に低下するので、当会としては最低1ヶ月に1度は空気圧の点検をしていただくことを推奨していますが、今回の結果をみると月1回以上点検しているというドライバーは56人中、11人（19.6%）と2割にも満たない残念な結果となっています。

**Q4 指定空気圧がどこに表示されているかご存知ですか？**

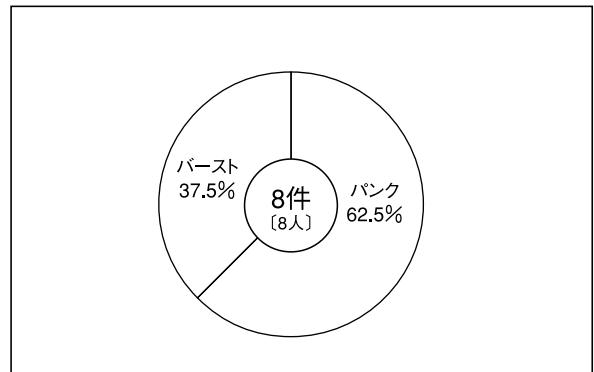


知っているとしたドライバーは56人中41人（73.2%）おりました。

**Q5 高速道路を走行中、タイヤトラブルを  
起こしたことがありますか？**



**Q5-1 それはどんなトラブルですか？  
（複数回答）**

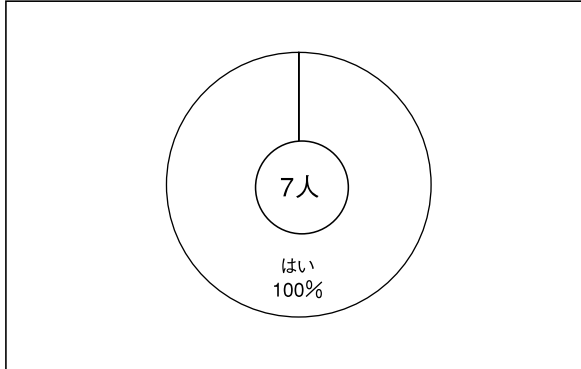


タイヤトラブルの経験があると回答されたドライバーは56人中8人（14.3%）いました。

また、トラブルの内訳はパンクが5件（62.5%）で1位、次いでバーストが3件（37.5%）となっており、タイヤトラブルはこの2つの項目が占めています。

## 《大型バス》

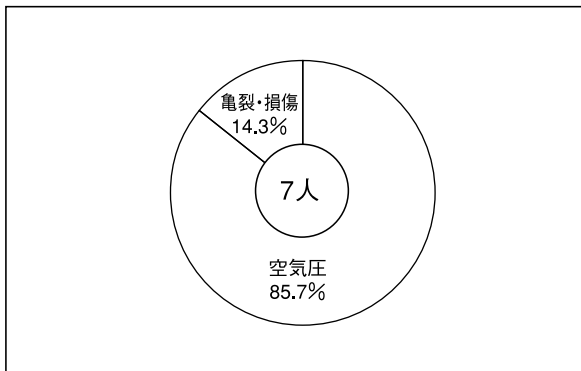
### Q1 出発前にタイヤ点検をしましたか？



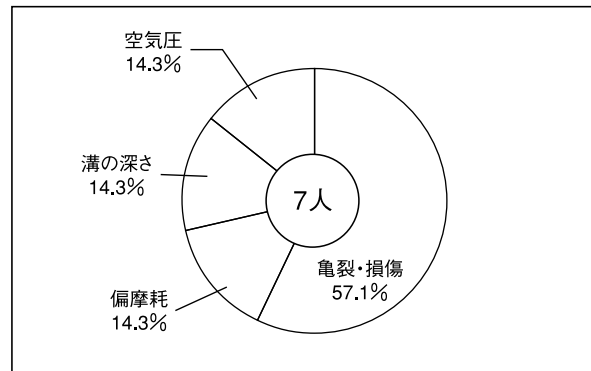
アンケートを受けたドライバー7人全員（100%）が出発前のタイヤ点検を実施していました。

### Q1-2 何を重点的に点検しましたか？（2つ挙げて下さい）

#### 重点度1位

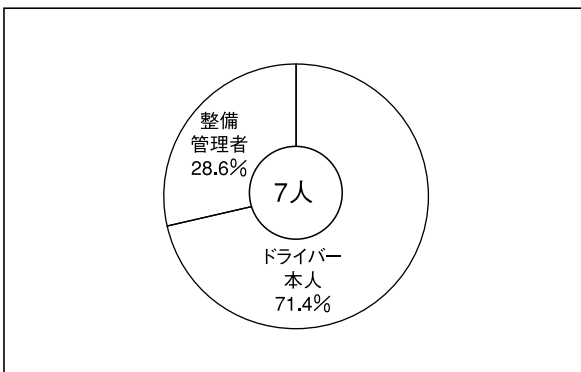


#### 重点度2位



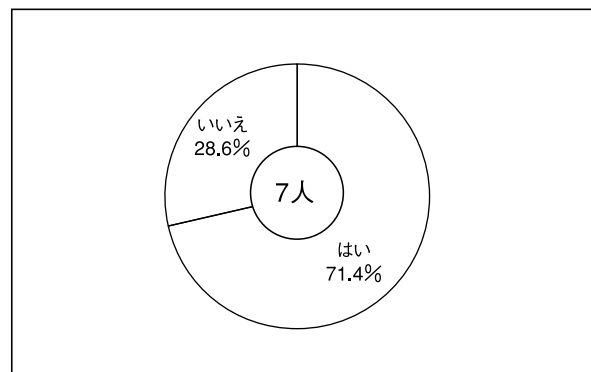
7人中6人（85.7%）のドライバーが空気圧を重点的に点検していることが分かりました。

### Q2 タイヤの月例点検は誰が行いましたか？



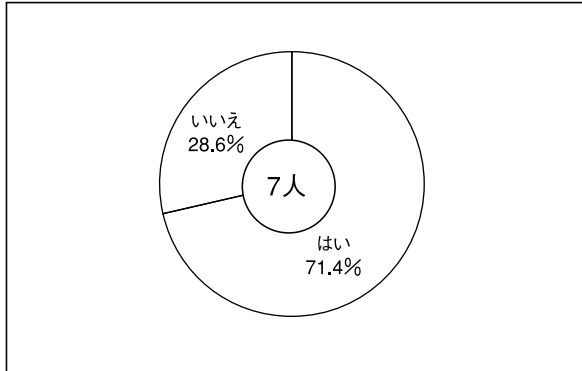
自分自身でタイヤの点検を行ったというドライバーは5人（71.4%）、整備管理者が行ったのは2人（28.6%）でした。

### Q3 このバスのタイヤの指定空気圧を知っていますか？

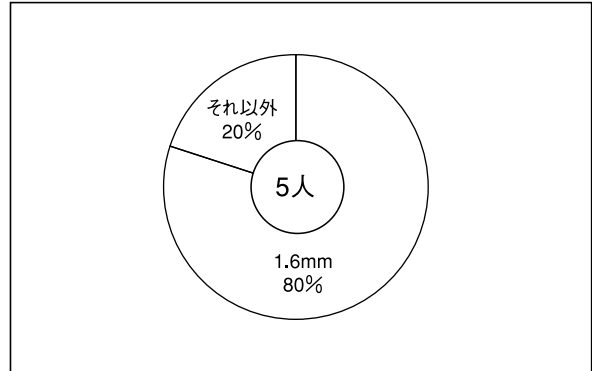


Q2の回答と合わせると、自分で点検しているドライバー全員が、運転している車両に装着されているタイヤの指定空気圧を理解していることが分かりました。一方、整備管理者任せのドライバーは指定空気圧を知らないという、残念な結果となっています。

**Q4 「スリップサイン」という言葉を知っていますか？**

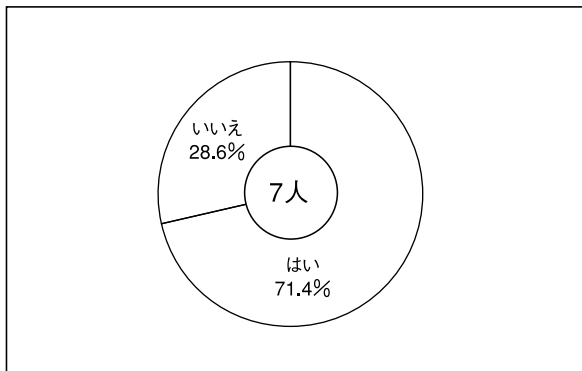


**Q4-1 それは残り溝何mmであられますか？**

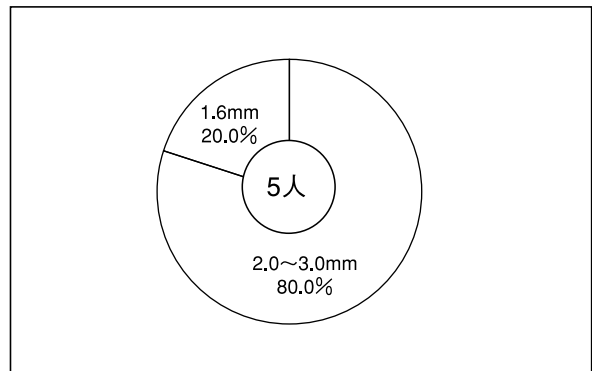


スリップサインを知っていると回答されたドライバーは5人（71.4%）いましたが、その値が1.6mmと分かっている人は4人（80%）でした。

**Q5 タイヤ取替時の溝深さについて、会社から指示されていますか？**



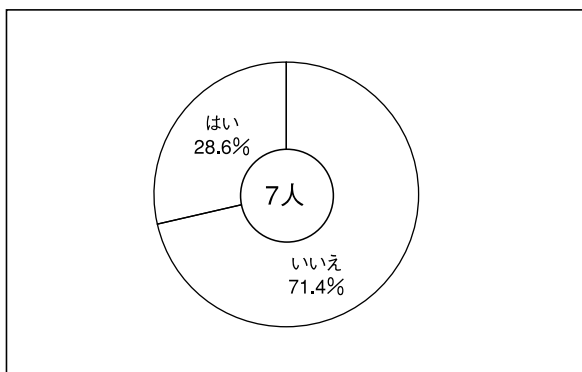
**Q5-1 それは何mmですか？**



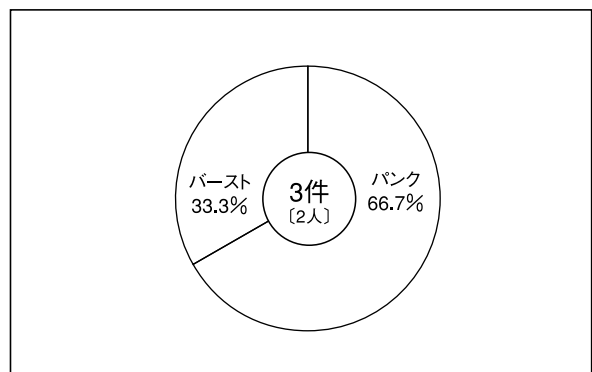
大型バスでは高速走行時の摩耗限度が3.2mmと規定されています。アンケートの結果、取替時の溝深さを会社から指示されているドライバーは5人（71.4%）、指示なしは2人（28.6%）となっています。

2人のドライバーが取替時の溝深さを会社から指示されていないということは、Q2.3の回答同様、タイヤの管理については整備管理者任せの実態が浮かんできます。

**Q6 高速道路を走行中、タイヤトラブルを起こしたことがありますか？**



**Q6-1 それはどんなトラブルですか？（複数回答）**



タイヤトラブルの経験があると回答されたドライバーは2人（28.6%）でした。

又、そのトラブルの内容はパンクが2件（66.7%）、次いでバーストが1件（33.3%）となっており、乗用車のアンケート結果同様、パンクとバーストが占めています。